SK PREMIUM SILICONE BIO

SK
PREMIUM
SILICONE
BIO

UV PROTECTION

強力防かび・防藻 超耐候形水性ハイブリッドシリコン樹脂塗料

エスケープレミアム
シリコンBIOシリーズ
バイオ



エスケー化研

強力防かび・防藻 超耐候形水性ハイブリッドシリコン樹脂塗料

エスケープレミアムシリコンBIO（バイオ）

強力防かび・防藻 超耐候形水性ハイブリッドシリコン樹脂遮熱塗料

エスケープレミアムシリコンBIO（バイオ）遮熱

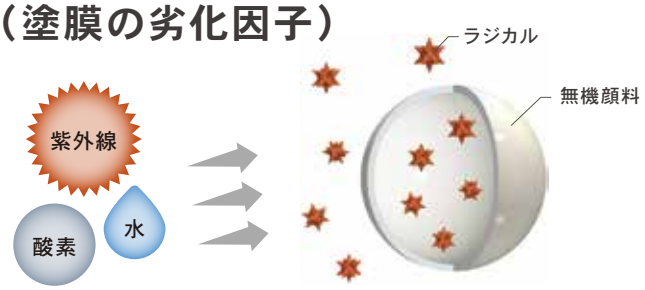
かびや藻などの微生物から建物を護る



日本の高温多湿な気候は、かびや藻の発生に最適な環境です。戸建て住宅やマンションの外壁などに見られる、かびや藻などの微生物汚染は建物の資産価値を損ねるだけでなく、不衛生な環境により人体に害を及ぼす危険性もあります。エスケープレミアムシリコンBIO（遮熱）はラジカルコントロール技術による超耐候性と、特殊設計による強力な防かび・防藻性を有し、長期に亘りかびや藻などの微生物汚染から建物を護ります。

塗膜劣化のメカニズム ― ラジカル（塗膜の劣化因子）

従来の汎用塗料では、紫外線、酸素、水などが、塗膜の中に含まれる無機顔料と接触することで劣化因子であるラジカルが発生し、結合材として使用される樹脂の結合が破壊され、塗膜劣化の原因となります。



ラジカルの発生を極限まで抑える

ラジカルコントロール技術

塗膜内に発生するラジカルを独自の高緻密無機シールド層と高緻密有機シールド層のダブルシールドで抑えます。

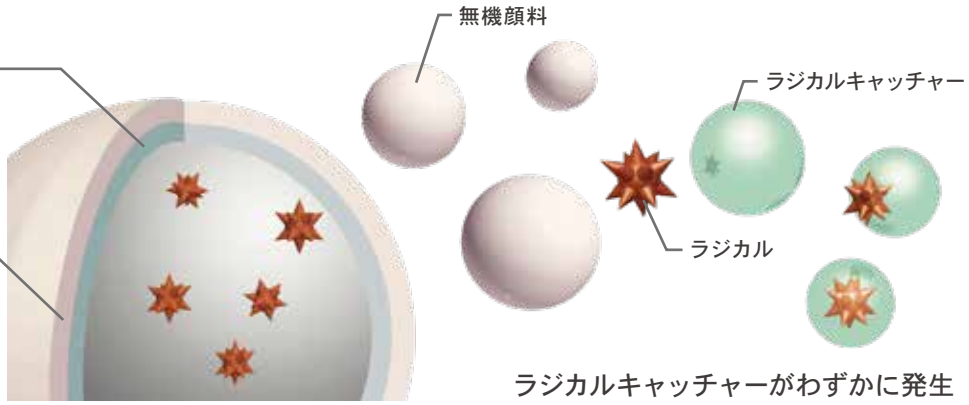
ダブルシールド

高緻密無機シールド層

無機シールド層により無機顔料の表面を保護。ラジカルの発生を抑制する。

高緻密有機シールド層

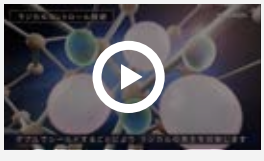
無機顔料と超耐候性樹脂との分散性をコントロール。無機シールド層のラジカル抑制効果を最大限に引き出す。



ラジカルキャッチャーがわずかに発生したラジカルを捕捉し、無害化します。

ラジカルコントロール技術を
動画でチェック

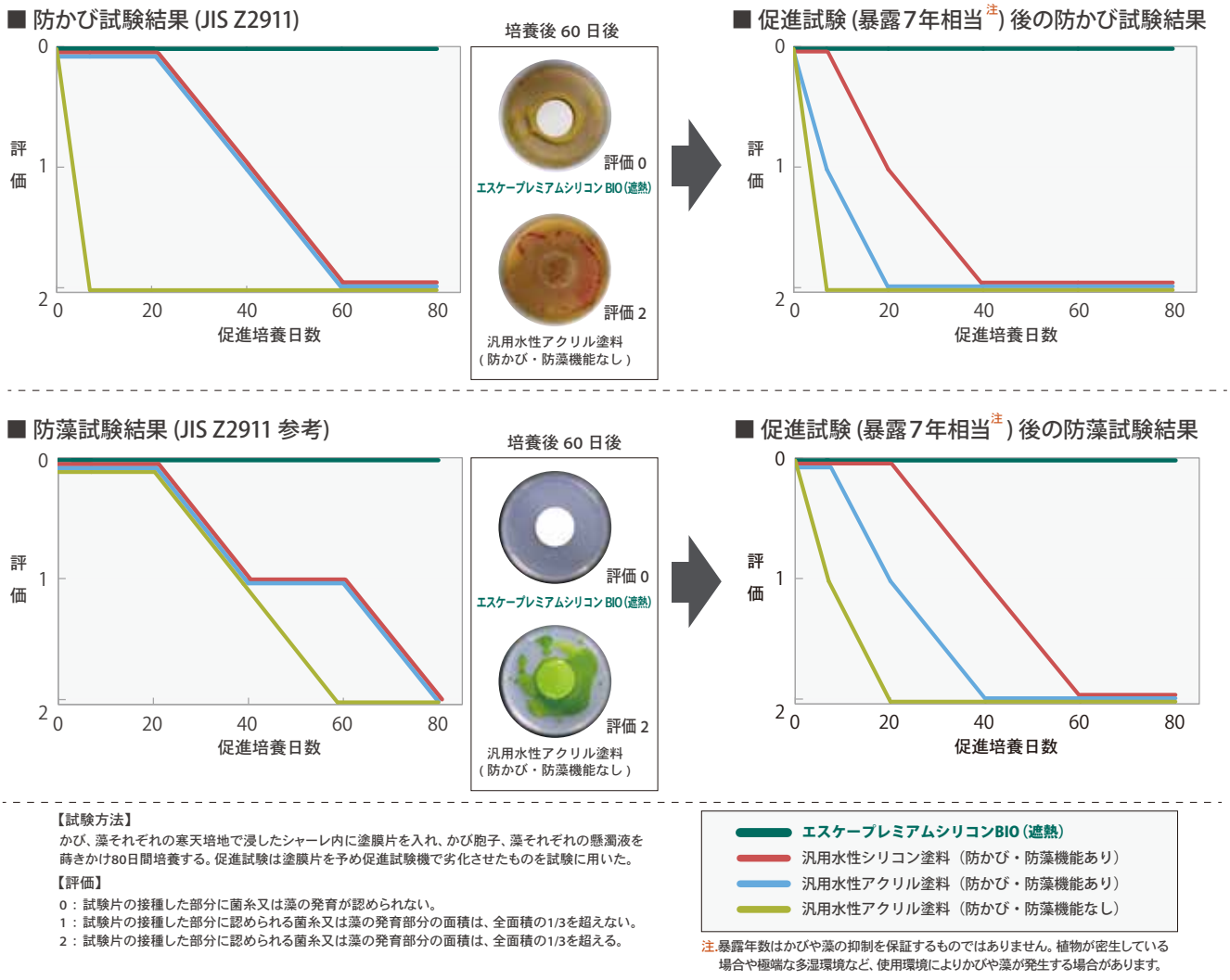
ラジカルコントロール技術のメカニズムを動画でわかりやすくご覧いただけます。



防かび・防藻性

従来の防かび塗料は紫外線や降雨などの経年劣化により、耐微生物汚染性が低下することがありました。エスケープレミアムシリコンBIO（遮熱）はプレミアムシリコンシリーズの優れた超耐候性に加え、持続力に優れた強力防かび・防藻技術の導入により、長期に亘って優れた耐微生物汚染性を発揮します。

効果を示すかびの種類例：
アルタナリア（すすかび）、クラドスポリウム（くろかび）、アスペルギルス、オウレオバシディウム、ペニシリウム、トリコデルマ等



耐候性・耐久性

ラジカルコントロール技術により紫外線（UV）や水等の劣化要因から建物を保護します。また、塗膜が長持ちするため塗り替え回数の軽減に寄与します。

低汚染性

緻密なハイブリッドシリコン樹脂の架橋塗膜は汚れを定着しにくくします。また、エスケープレミアムシリコンBIO遮熱は、汚れの付着による遮熱効果の低下を抑制します。

仕上がり性

超微粒エマルションからなる滑らかな塗膜は、従来の水性塗料と比べ艶が高く、抜群の仕上がり性を提供します。

抜群の作業性

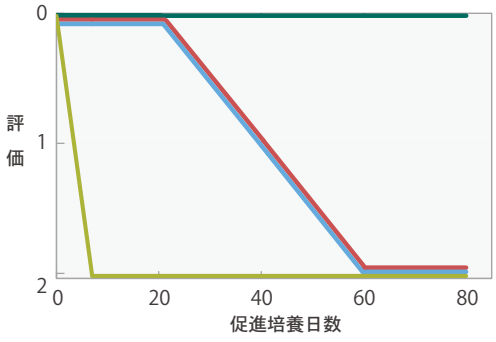
隠ぺい性の高い塗膜と塗り易い作業性により、作業効率を向上させます。

防かび・防藻性

従来の防かび塗料は紫外線や降雨などの経年劣化により、耐微生物汚染性が低下することがありました。エスケープレミアムシリコンBIO（遮熱）はプレミアムシリコンシリーズの優れた超耐候性に加え、持続力に優れた強力防かび・防藻技術の導入により、長期に亘って優れた耐微生物汚染性を発揮します。

効果を示すかびの種類例：
アルタナリア（すすかび）、クラドスポリウム（くろかび）、アスペルギルス、オウレオバシディウム、ペニシリウム、トリコデルマ等

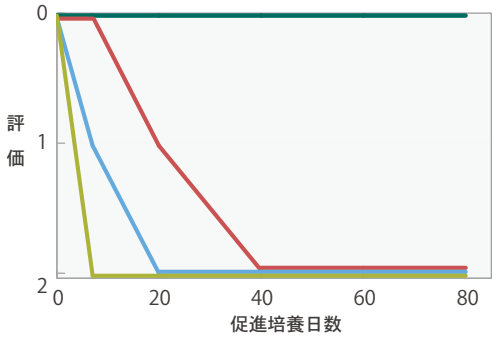
■ 防かび試験結果 (JIS Z2911)



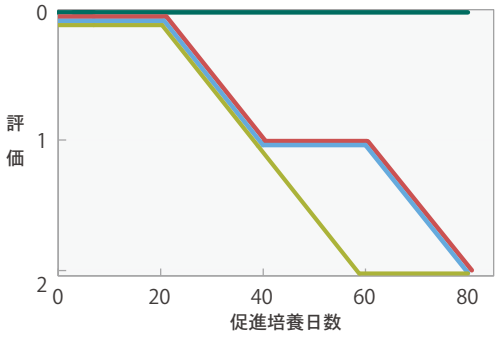
培養後 60 日後



■ 促進試験 (暴露7年相当[注]) 後の防かび試験結果



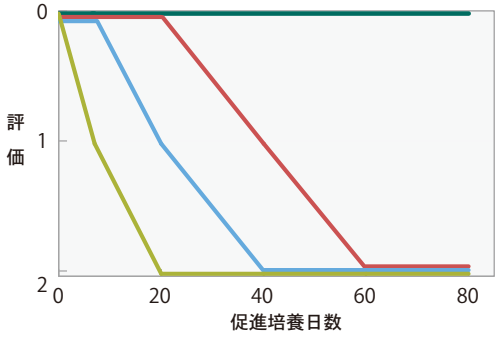
■ 防藻試験結果 (JIS Z2911 参考)



培養後 60 日後



■ 促進試験 (暴露7年相当[注]) 後の防藻試験結果



【試験方法】
かび、藻それぞれの寒天培地で浸したシャーレ内に塗膜片を入れ、かび胞子、藻それぞれの懸濁液を蒔きかけ80日間培養する。促進試験は塗膜片を予め促進試験機で劣化させたものを試験に用いた。

【評価】
0：試験片の接種した部分に菌糸又は藻の発育が認められない。
1：試験片の接種した部分に認められる菌糸又は藻の発育部分の面積は、全面積の1/3を超えない。
2：試験片の接種した部分に認められる菌糸又は藻の発育部分の面積は、全面積の1/3を超える。

- エスケープレミアムシリコンBIO（遮熱）
- 汎用水性シリコン塗料（防かび・防藻機能あり）
- 汎用水性アクリル塗料（防かび・防藻機能あり）
- 汎用水性アクリル塗料（防かび・防藻機能なし）

注.暴露年数はかびや藻の抑制を保証するものではありません。植物が密生している場合や極端な多湿環境など、使用環境によりかびや藻が発生する場合があります。

耐候性・耐久性

ラジカルコントロール技術により紫外線（UV）や水等の劣化要因から建物を保護します。また、塗膜が長持ちするため塗り替え回数の軽減に寄与します。

低汚染性

緻密なハイブリッドシリコン樹脂の架橋塗膜は汚れを定着しにくくします。また、エスケープレミアムシリコンBIO遮熱は、汚れの付着による遮熱効果の低下を抑制します。

仕上がり性

超微粒エマルションからなる滑らかな塗膜は、従来の水性塗料と比べ艶が高く、抜群の仕上がり性を提供します。

抜群の作業性

隠ぺい性の高い塗膜と塗り易い作業性により、作業効率を向上させます。

殺菌工程

改修工事などで既にかびや藻が発生している場合は、殺菌洗浄剤（SKKカビ除去剤#5【塩素系】、★SKKカビ除去剤#50【アルコール系】）をご用意しております。一度生えたかびや藻は表層部だけでなく内部に浸透している場合があります。通常の洗浄だけでは再発する可能性がありますので、事前に殺菌洗浄を行うことで、より高い防かび・防藻効果を発揮することができます。

(23℃)

工程		材料	調合（重量比）	所要量（L/m²）	塗回数	間隔時間(hr)			備考
						工程内	工程間	最終養生	
1	殺菌 洗浄 ※1	ＳＫＫカビ除去剤＃５	100	希釈した液を左官ブラシなどに含ませ、汚れた部分にこすりつけるように洗浄してください。さらに汚れた部分とその周辺を洗浄してください。					ブラシ、ローラー、ウエス
		清水	500～1000						
2	水洗浄	殺菌洗浄後、約2～3時間放置した後、清水で十分洗い流してください。 汚れの取れなかった場合は、再度繰返し洗浄してください。							―
3	殺菌 ※2	ＳＫＫカビ除去剤＃５０	既調合	0.12～0.18	1～2	0.5以上	1以上	―	ブラシ、ローラー、ウエス

※1.塗膜表面に付着した菌の殺菌洗浄工程。　※2.塗膜内部に浸透した菌の殺菌工程。

荷姿

エスケープレミアムシリコンBIO …… 15kg石油缶（標準塗坪：43～68㎡）
（艶有り、半艶、3分艶、艶消し） 4kg缶（標準塗坪：11～18㎡）

エスケープレミアムシリコンBIO遮熱 …… 15kg石油缶（標準塗坪：43～68㎡）
（艶有、半艶、3分、艶消） 4kg缶（標準塗坪：11～18㎡）

エスケー弾性プレミアムフィラー …… 15kg石油缶（標準塗坪：15～75㎡）

水性SDサーフエポプレミアム …… 15kg石油缶（標準塗坪：38～83㎡）

☆水性ハイブリッドシーラー（クリヤー・ホワイト）…… 15kgセット（標準塗坪：75～187㎡）

SKKカビ除去剤#5（塩素系） …… 18kgポリ容器、5kgポリ容器

★SKKカビ除去剤#50（アルコール系） …… 16L石油缶、4L缶

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。
※エスケープレミアムシリコンBIO遮熱の下塗りに☆水性ハイブリッドシーラーを使用する場合は、ホワイトタイプをご使用ください。

【危険情報と安全対策】

製品の取り扱いはそれぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、下記の点にご注意ください。（☆印は硬化剤のみ★に該当）

1.引火性の液体のため、火気厳禁です。
2.有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3.施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

【施工後の注意】

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

用途

戸建て住宅、マンションの内外装、
店舗・事務所・工場・倉庫などの内外装

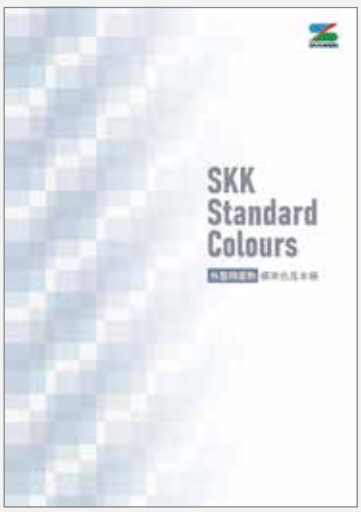
エスケープレミアムシリコンBIOは、ホルムアルデヒド放散等級Ｆ☆☆☆☆を取得していますが、エスケープレミアムシリコンBIO遮熱は取得していないため、内装への使用は避けてください。





遮熱標準色のご案内

エスケープレミアムシリコンBIO遮熱は標準色のみの設定となります。
「外壁用遮熱標準色見本帳」からお選びください。





資料のご請求は最寄りの各営業所へお問い合わせください。

■標準施工仕様

●改装【下地 ： モルタル、コンクリート　既存塗膜 ： 吹付タイル、リシンなど】

(23℃)

工程		材料	調合(重量比)	所要量(kg/m²)	塗回数	間隔時間(hr) 工程内	間隔時間(hr) 工程間	間隔時間(hr) 最終養生	備考
下地調整		●旧塗膜に脆弱層がある場合は、サンダー及び皮スキ、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000などで段差修正後、パターンの復元を行ってください。なおセメント系下地調整塗材(ミラクファンドシリーズ、ミラクカチオンフィラーなど)を用いる場合は、下地調整後、水性ミラクシーラーエコなどの下塗材を塗付してください。 ●高圧水洗(5～15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。							―
1	下塗り(薄付け仕上げ) ※1.2	エスケー弾性プレミアムフィラー	100	0.20～0.5	1	―	3以上	―	ウールローラー 、刷毛
		清水	5～8	―					
1′	下塗り(厚付け仕上げ) ※1.2	エスケー弾性プレミアムフィラー	100	0.5～1.0	1	―	4以上 ※4	―	M-9ローラー(マスチックローラー) リシンガン 口径：4～5mm 圧力：392～588kPa (4～6kgf/㎠)
		清水	2～8 ※3	―					

●改装【下地 : 窯業系サイディング】

(23℃)

工程		材料	調合(重量比)	所要量(kg/m²)	塗回数	間隔時間(hr) 工程内	間隔時間(hr) 工程間	間隔時間(hr) 最終養生	備考
下地調整		●劣化した塗膜は除去してください。 ●高圧水洗（5～15MPa）にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。 ●劣化した目地材は除去した後、シーリング材による打ち替えを行ってください。							―
1	下塗り ※5.6.8.12 注1	水性SDサーフエポプレミアム	100	0.18～0.40	1	―	3以上	―	ウールローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：800～1000㎖/分 パターン幅：25～30cm
		清水	5～10 ※7	―					

注1.光触媒や親水性タイプの表面コーティング、無機系コーティング材またはふっ素樹脂クリヤーが塗装されているサイディングには適用できません。

●改装【下地 : サイディング(光触媒コーティング、無機系コーティング等を含む）】※下地調整工程は、上記の【改装（下地 : 窯業系サイディング）】の下地調整を参照。

(23℃)

工程		材料	調合(重量比)	所要量(kg/m²)	塗回数	間隔時間(hr) 工程内	間隔時間(hr) 工程間	間隔時間(hr) 最終養生	備考
1	下塗り ※9.10.11.12 注2.3	水性ハイブリッドシーラー（クリヤー・ホワイト）主剤	100	0.08～0.12 ※13	1	―	6以上 7日以内	―	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：800～1000㎖/分 パターン幅：25～30cm
		水性ハイブリッドシーラー　硬化剤	7.14						

注2.無機系コーティングなどが施されたサイディングボード面の中には適用できないものもあります。予め試験施工を実施し付着性を確認してください。付着性に問題がある場合は、目荒しを行ってください。
注3.エスケープレミアムシリコンBIO遮熱については、☆水性ハイブリッドシーラーホワイトをご使用ください。

●上塗り : 共通

(23℃)

工程		材料	調合(重量比)	所要量(kg/m²)	塗回数	間隔時間(hr) 工程内	間隔時間(hr) 工程間	間隔時間(hr) 最終養生	備考
2	上塗り	エスケープレミアムシリコンBIO（遮熱）	100	0.22～0.35 *	2	2以上	―	24以上	ウールローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：800～1000㎖/分 パターン幅：25～30cm
		清水	0～8 ※14	―					

＊ 凹凸が小さく吸い込みが少ない下地の塗り替えの場合は所要量が少なく、吹付けタイル下地等凹凸が大きく吸い込みが多い下地の塗り替えの場合には所要量が多くなります。また、規定所要量を厳守してください。
注）エスケー弾性プレミアムフィラーの上塗材として、エスケープレミアムシリコンBIO艶消し、エスケープレミアムシリコンBIO遮熱艶消もご使用いただけます。

※ 1. この他に下塗材として、水性スマートサーフ（15kg石油缶）、水性ソフトサーフエポ（16kg石油缶）、水性ソフトサーフＳＧ（16kg石油缶）もご使用いただけます。
※ 2. エスケー弾性プレミアムフィラーの所要量、希釈率は塗装器具により異なります。なお既存パターンや下地の状態により所要量が異なる場合がありますのでご注意ください。
※ 3. エスケー弾性プレミアムフィラーの厚付仕上げの場合の清水での希釈率は、マスチックローラー塗り時で「2～5」、リシンガン塗り時で「5～8」となります。
※ 4. マスチックローラーまたはリシンガンで塗装する場合、工程間間隔時間が４時間以上となります。
※ 5. 下地の状態によりシーラーや目荒しが必要な場合があります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
※ 6. 下塗りには必ず指定の材料をご使用ください。また、この他下塗材として、水性ミラクシーラーエコ（クリヤー・ホワイト、15kg石油缶）、弱溶剤タイプの★一液マイルドシーラーES（クリヤー・ホワイト、14kg石油缶）もご使用いただけます。★一液マイルドシーラーESを使用する場合、工程間間隔時間を16時間以上としてください。なお、エスケープレミアムシリコンBIO遮熱については、ホワイトタイプをご使用ください。
※ 7. 水性SDサーフエポプレミアムの清水での希釈率は、スプレー塗り時、刷毛・ローラー塗り時共に「5～10」となります。
※ 8. この他下塗材として、★マイルドSDサーフエポプレミアム(15kg石油缶)もご使用いただけます。
※ 9. 下地の種類により所要量及び塗回数が異なります。吸い込みの著しい場合は2回塗りとしてください。
※10. 希釈しますと付着力低下や性能低下などの原因となりますので希釈は絶対にしないでください。
※11. この他下塗材として、★エスケーハイブリッドシーラーEPO(クリヤー・ホワイト、15kgセット)もご使用いただけます。なお、エスケープレミアムシリコンBIO遮熱については、ホワイトタイプをご使用ください。
※12. モルタル、コンクリート下地の改装用としてもご使用いただけます。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
※13. ☆水性ハイブリッドシーラー（クリヤー・ホワイト）の素地別の所要量の目安は、窯業系サイディングボードで「0.08～0.12」、コンクリート・セメントモルタルで「0.10～0.20」となります。
※14. 清水での希釈率は、スプレー塗り時で「4～8」、刷毛・ローラー塗り時で「0～8」となります。希釈しすぎると、隠ぺい力不足やたれ、透けなどの仕上がり不良、色別れなどの原因となりますので、ご注意ください。
※15. エスケープレミアムシリコンBIO（遮熱）の艶消しタイプは、サイディング、ALC等の大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装を避けてください。
※16. 経年劣化したサイディングボード面への塗装は、表面劣化部分から剥離する場合があります。試験施工を行って付着性を確認の上、本施工に入ってください。
※17. 無機系コーティングなどが施されたサイディングボード面の中には適用できないものもあります。予め試験施工を実施し付着性を確認してください。付着性に問題がある場合は、目荒しを行ってください。
※18. 硬質塩ビや塗装時に光沢の残っている劣化していない塗膜に塗装する場合は、目荒しを行ってください。
※19. 上塗材の希釈率は、試験施工などにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は色目及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
※20. 濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
※21. 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、予め隠ぺい性の良い共色を塗装してください。
※22. 艶調整品（艶有り以外の半艶、3分艶、艶消しなど）は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また濃い色目になると、ローラー塗装時に塗継ぎ箇所で艶むらを生じやすい傾向があります。試験施工で確認の上、本施工に入ってください。
※23. 上塗材は所定の乾燥時間（最終養生時間）を厳守してください。施工後、塗膜が乾燥するまでの時間内に降雨などにより、塗膜表面が長時間、水分がかかった状態になりますと、所定の低汚染機能が発揮されない場合があります。低汚染機能は乾燥後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨などが予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に雨が当たらないよう、所定の乾燥時間を厳守してください。
※24. 施工当日に降雨、降雪、結露が予想される場合は、施工を中止してください。また、気象の急変などにより、施工中、施工後に降雨が生じた場合はシート養生などを行い、塗装面に直接雨がかからないようにしてください。
※25. 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に、傾斜壁の下端部、笠木などの水切りのない部位、窓廻りで水切りが不十分な場合、汚れが溜まりやすい目地の下部、雨がかからない部位などは、注意が必要です。
※26. 上塗材はむらなく均一に塗付してください。低汚染機能を発揮するためには、塗付量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しができないよう、注意してください。
※27. 鉄さび・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。各シーリング材は可塑剤を含まないノンブリードシーリングをご使用ください。
※28. 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
※29. 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業系サイディング及び発泡ウレタンなどを使用した高断熱型外壁に塗装する場合は、蓄熱されたり、水の影響や下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることでパネルの変形や塗膜の膨れ、剥がれなどを生じることがあります。ご採用にあたっては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
※30. 改装工事に溶剤形の下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異状が発生することがあります。試験施工で確認の上、本施工に入ってください。
※31. 防かび、防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件（建物の北面などで常時湿気、水分が滞留しやすい壁面、植栽や森林などが隣接、接触している壁面など）により、防かび、防藻性が十分に発揮されない場合があります。
※32. かびや藻が付着している場合は、「ＳＫＫカビ除去剤＃５（塩素系）」にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。なお酸性洗浄剤との併用は避けてください。
※33. SKKカビ除去剤#5、★SKKカビ除去剤#50を使用の際は、保護メガネ、保護手袋などをご使用ください。万一、手や粘膜などに付いた場合は、大量の清水で速やかに洗浄してください。
※34. SKKカビ除去剤#5はさびが発生する可能性があるため、金属部への使用は避けてください。金属部へはアルコール系の★SKKカビ除去剤#50をご使用ください。
※35. SKKカビ除去剤#5、★SKKカビ除去剤#50をご使用の際は、樹木、植木及び池の観賞魚などに影響を及ぼすおそれがありますので、予め養生を行ってから、施工に入ってください。
※36. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
※37. 塗り重ね時間は環境（温度、湿度、換気、風通しやすさ）や膜厚によって変わります。
※38. 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
※39. 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
※40. 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
※41. 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りと仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
※42. シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により塗膜が密着しないことや汚染することがあります。
※43. 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
※44. 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
※45. 基材の洗浄に薬剤を用いた場合、薬剤洗浄後の水洗工程を入念に行ってください。薬剤が被塗面に残存したまま塗装すると塗膜の膨れ、剥がれ、白化につながる場合があります。
※46. 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の膨れ、白化などが発生する場合がありますので使用は避けてください。
※47. 塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
※48. 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生、艶引けなどにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
※49. 著しく結露を生じるような場所では、しみが発生することがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装を行う場合は、強制換気の上、溶剤形塗料での塗装を推奨いたします。
※50. 結露等によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
※51. 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。気温5℃以下での施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
※52. 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に撹拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所にて保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
※53. 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

エスケー化研株式会社
本　　社 大阪府茨木市中穂積3−5−25 ☎ 072-621-7733
URL https://www.sk-kaken.co.jp
札幌支店 011-784-4000　東京支店 03-3204-6601　埼玉支店 048-686-2391　北陸支店 076-266-1041　京都支店 075-646-3967　神戸支店 078-671-0451　高松支店 087-865-5411
仙台支店 022-259-2431　千葉支店 043-304-0411　横浜支店 045-820-2400　名古屋支店 052-561-7712　大阪支店 072-621-7721　広島支店 082-943-5043　福岡支店 092-629-3427

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。
特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

［製作年月：2026年8月］(260815.NL−1)